



「親育ち」とは・・・子どもの成長に応じた家庭での教育に取り組むため、保護者が自ら学び育つこと。

子育てなどでお悩みの方を対象に、家庭教育や子育てについて「子育て・親育ち講座」を開催します。今年度も、波佐見町では、保育分野のエキスパートを輩出する長崎短期大学（佐世保

<開催予定スケジュール>

No.	日程	講座名	対象
①	10月25日(火)	◆◆おやつについて◆◆ 子どもにとって、おやつとは「間食」、「補食」の意味があり、大切な食事の一部です。どれくらいの量が、どのような内容が好ましいのか？考えてみましょう。また市販品のお菓子に含まれる栄養素について確認してみましょう！	保護者
		◆◆親子で一緒に「つくってあそぼ！」◆◆ 段ボールや新聞広告紙、パック容器など、ちょっとしたアイデアでたのしい手作りおもちゃが簡単にできます。身近な廃材で出来る手作りおもちゃ。指先の巧緻性を高める運動発達の側面や、おもちゃの形や数、文字などに自然に親しむ体験を楽しみながら一緒にやってみませんか？	親子
②	11月26日(土)	◆◆子どもの身体の発達について◆◆ 乳幼児期は特に神経系の発達の敏感期であり、体を動かす遊びを通して、生活に必要な様々な動きを習得していく絶好の機会となります。運動は生まれながらのもの、発達に伴うもの、運動学習をするもの、特別の練習を要するものに分類されますが、子どもに体を動かすことが「楽しい」と思わせることが「またやりたい」やる気に繋がっていきます。近年、心や脳との関係も注目されていますので、運動発達やその環境について一緒に考えてみませんか？	保護者
		◆◆お父さんと一緒に運動遊び！◆◆ お父さんとの運動遊びは、子どもたちが安心感の中でダイナミックに、伸び伸びと体を動かすことができるものです。またドキドキ、ワクワク、挑戦する意欲も掻き立て、楽しく遊びながら体を動かすことができます。子どもの成長を感じながら、楽しく一緒に遊んでみませんか？	親子

<開催時間> 午前10時～12時(途中休憩10分あり)

<開催場所> 波佐見町勤労福祉会館(波佐見町井石郷2255-2)

<対象者> 保護者(保護者1人での参加も可)

<参加費> 無料

※講座No毎に受講希望できますが、1日に開催される2講座両方を受講していただきます。

<募集定員> 1講座あたり10組(1名での参加もできます)※新型コロナウイルス感染拡大防止のため人数を制限しています。

<申込方法> 申込用紙は役場担当窓口または波佐見町子育て支援センター「きしゃぼっぽ」に設置しています。なお、希望者多数の場合、受講できないことがあります。その場合、先着順の受付とさせていただきます。受講できない方へは、担当課からご連絡いたします。

<申込め切> 受講を希望する講座開催日の7日前まで(郵送、FAX、メール可)

※当日は子育て支援センター「きしゃぼっぽ」で託児をお受けしますが、**申し込み時に事前予約が必要です。**

(4か月未満のお子さんは託児不可。)

<お願い> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用と受付時に手指消毒及び体温測定をお願いします。新型コロナウイルス感染症が発生した場合は、講座を中止することがありますのであらかじめご了承ください。

<主催> 波佐見町/長崎短期大学

<問い合わせ先> 波佐見町役場子ども・健康保険課 子育て支援班 住所:〒859-3791 波佐見町宿郷660番地
電話:0956-85-2333 FAX:0956-85-2337 E-Mail:kodomo@town.hasami.lg.jp



令和4年度 波佐見町との連携講座（広報誌掲載）

2022/8/19

希望日	実施形式	時間	講座概要	対象	担当講師（学科）	
1 10月25日 （火）	講座	10:10 ～ 11:00	◆◆おやつについて◆◆ 子どもにとって、おやつとは「間食」、「補食」の意味があり、大切な食事の一部です。 どれくらいの量が、どのような内容が好ましいのか？考えてみましょう。 また市販品のお菓子里に含まれる栄養素について確認してみましょう！	保護者	平田安喜子	地域共生学科 （製菓コース）
	演習	11:10 ～ 12:00	◆◆親子で一緒に 「つくってあそぼ！」◆◆ 段ボールや新聞広告紙、パック容器など、ちょっとしたアイデアでたのしい手作りおもちゃが簡単にできます。身近な廃材で出来る手作りおもちゃ。指先の巧緻性を高める運動発達の側面や、おもちゃの形や数、文字などに自然に親しむ体験を楽しみながら一緒にやってみませんか？	親子 （0～2歳 児）	戸田恵理子	保育学科
2 11月26日 （土）	講座	10:10 ～ 11:00	◆◆子どもの身体の発達について◆◆ 乳幼児期は特に神経系の発達の敏感期であり、体を動かす遊びを通して、生活に必要な様々な動きを習得していく絶好の機会となります。 運動は生まれながらのもの、発達に伴うもの、運動学習をするもの、特別の練習を要するものに分類されますが、子どもに体を動かすことが「楽しい」と思わせることが「またやりたい」やる気に繋がっていきます。近年、心や脳との関係も注目されていますので、運動発達やその環境について一緒に考えてみませんか？	保護者	中尾健一郎	保育学科
	演習	11:10 ～ 12:00	◆◆お父さんと一緒に運動遊び！◆◆ お父さんとの運動遊びは、子どもたちが安心感の中でダイナミックに、伸び伸びと体を動かすことができるものです。またドキドキ、ワクワク、挑戦する意欲も掻き立て、楽しく遊びながら体を動かすことができます。子どもの成長を感じながら、楽しく一緒に遊んでみませんか？	親子 （0～2歳 児）		